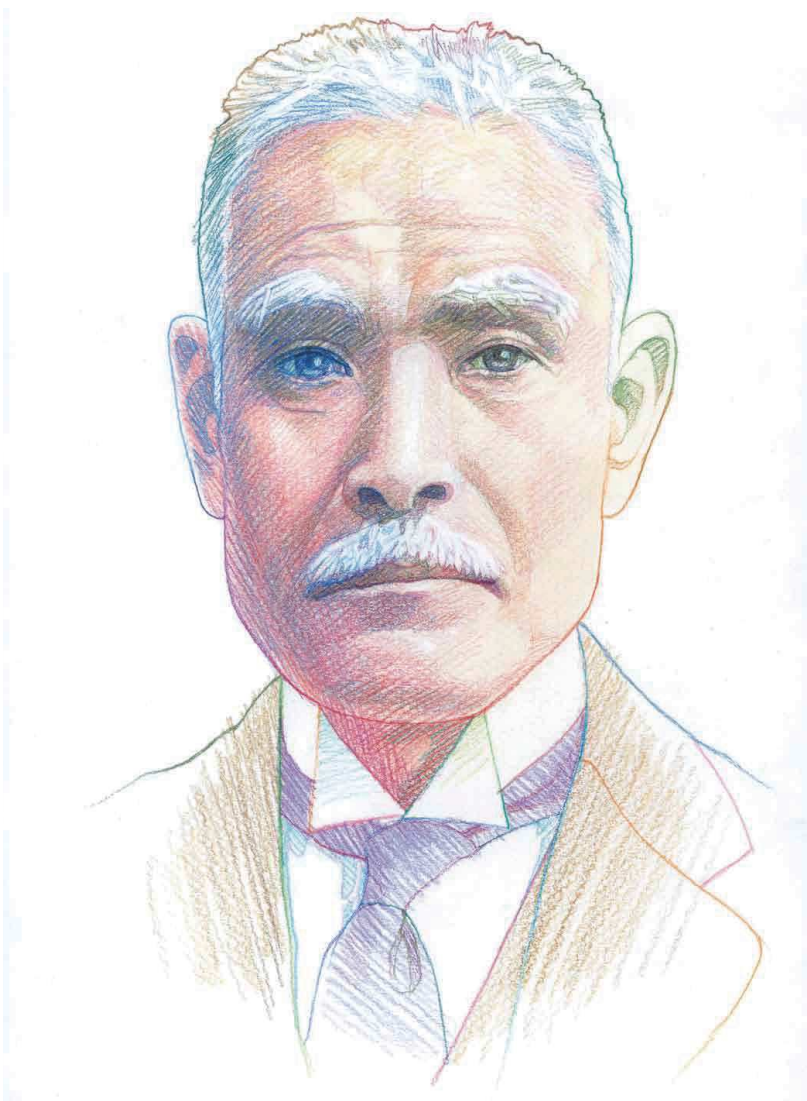


# 「文學界」から英文学研究へ

とがわしゅうこつ

## 戸川秋骨

Togawa Syukotsu



明治3年(1870)～昭和14年(1939)

玉名市生まれ

作家、翻訳家、英文学者

明治学院卒業後、北村透谷きたむらとうこく、島崎藤村しまざきとうそんらと雑誌『文學界』の創刊に携わり、自然主義運動の一端いっぴを担う。のち、慶應義塾大学教授として英文学研究を深め、評論、随筆ずいひつなど、精力的に作品を発表し、学究的文体を得意とし多彩な著作を残した。翻訳家としても知られ、『哀史』(レ・ミゼラブル)や『十日物語』(デカメロン)は広く読まれている。小泉八雲に直接学んでおり、伝記的作品も残している。